

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名【新】岐阜関ヶ原古戦場記念館展示物等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局
岐阜関ヶ原古戦場記念館 学芸係

電話番号：0584-47-6070(内201)

E-mail：c23116@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	16,000	0	0	0	0	0	0	0	16,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

2020年10月に開館した岐阜関ヶ原古戦場記念館は、開館から2年間で来館者数が22万人を突破するなど、順調な滑り出しであるが、建物外部に設置している展示物は、厳しい風雨により、当初の想定以上に劣化が進み、外観保持のためには張り替えが必須である。また、今後の継続的な集客には、新規来館客とともにリピーター客の獲得に向け、魅力のある展示物を定期的に入替え展示する必要がある。実物資料が少ない当館では、従来から文書等の収集に務めてるが、更に所蔵が少ない立体物（武具等）の積極的な収集が必要である。

(2) 事業内容

①展示資料（立体物）の充実

- ・火縄銃、刀装具、茶道具、楽器類などの戦国関連の資料を重点的に収集していく。

②展望塔陣幕製作（業務委託）

- ・記念館展望塔外壁設置の陣幕4枚を撤去し、現状と同サイズ（20m×5m）の陣幕を新しく製作・設置する

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設のため県負担が妥当。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	6,000	陣幕製作設置
備品購入費	10,000	展示資料購入
合計	16,000	



4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- Ⅱの3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (2)次世代を見据えた産業の振興
- ④観光産業の基幹産業化
- 岐阜県成長・雇用戦略

(2) 国・他県の状況

岐阜県独自事業。歴史系博物館は全国に数館あるが、関ヶ原合戦に特化した博物館は全国唯一。

(3) 後年度の財政負担

陣幕の劣化の状況に応じて計画的に更新整備していく。資料収集に関しては、R5年度は、所蔵数の特に少ない立体物の収集を強化する。以降は、来館者ニーズを踏まえて購入品(文書、立体物等)を検討していく。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が管理運営する施設での事業であるため県執行が妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

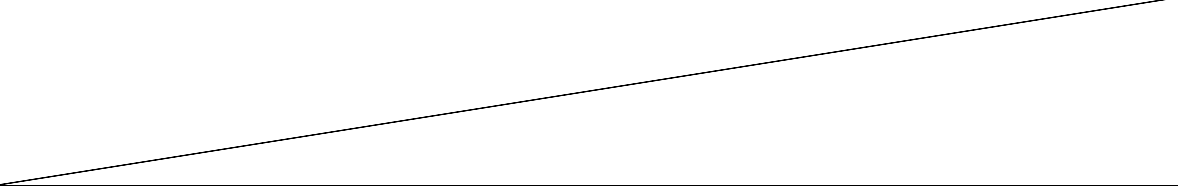
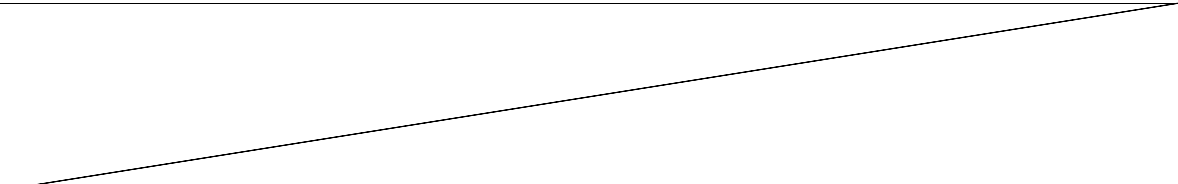
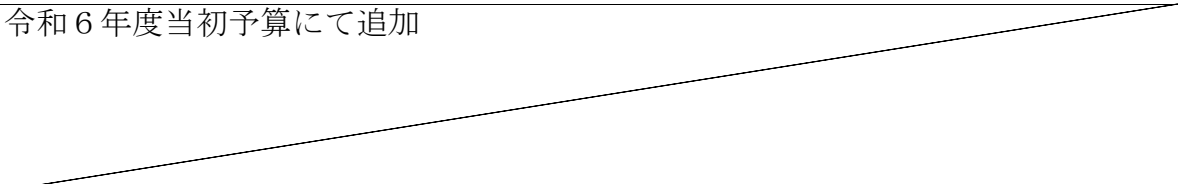
- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・購入する展示資料は、市場に出る機会が限られているため、関ヶ原の合戦に関するものが市場に出る都度対応する。
- ・陣幕は、令和4年10月に応急的な部分補修を行ったが、全体の劣化が激しく早期の架け替えが必要。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①観光消費額	/	1,721億円	2,400億円	2,900億円	3,300億円	52.2%
②観光入込客数 (実数)	/	3,842万人	4,000万人	4,800万人	4,900万人	78.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>記念館の外観装飾である陣幕は、少し離れた公共交通機関からも記念館が目立つような建築構想のうえで設置したものであり、記念館のシンボルとして欠かせない。展示資料については、後発館である当記念館は実物資料が少なく、来館者からも幅広い実物資料の充実が求められている。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>リピーターは、新鮮で魅力的な当館展示を目当てに関ヶ原を訪れるため、記念館の価値を高める展示物の更なる強化は、関ヶ原古戦場を核とした「戦国武将観光」を推進できる。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>来館者数は増加傾向にある。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 来館者のニーズを踏まえたコンテンツを充実することで記念館の魅力をさらに向上させ、広くPRすることが必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和5年度の資料収集に関しては、所蔵数の少ない立体物収集の強化を実施する。以降は、文書等とともに来館者ニーズを踏まえて購入品を検討していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	